

年金記録訂正請求に係る答申について

関東信越地方年金記録訂正審議会

(神奈川県担当部会)

平成 29 年 7 月 6 日 答申分

○答申の概要

年金記録の訂正の必要があるとするもの 1件

厚生年金保険関係 1件

厚生局受付番号 : 関東信越 (神奈川) (受) 第 1700023 号
厚生局事案番号 : 関東信越 (神奈川) (厚) 第 1700063 号

第 1 結論

請求者の A 社 (現在は、B 社) における標準賞与額を、平成 15 年 4 月 11 日は 1 万 8,000 円、同年 10 月 15 日は 37 万 2,000 円に訂正することが必要である。

平成 15 年 4 月 11 日及び同年 10 月 15 日の標準賞与額については、厚生年金保険の保険給付及び保険料の納付の特例等に関する法律第 1 条第 5 項の規定により、保険給付の計算の基礎となる標準賞与額として記録することが必要である。

事業主が請求者に係る平成 15 年 4 月 11 日及び同年 10 月 15 日の標準賞与額に基づく厚生年金保険料を納付する義務を履行したか否かについては、明らかでない認められる。

第 2 請求の要旨等

1 請求者の氏名等

氏 名 : 男
基礎年金番号 :
生 年 月 日 : 昭和 42 年生
住 所 :

2 請求内容の要旨

請 求 期 間 : ① 平成 15 年 4 月
② 平成 15 年 10 月

A 社において、請求期間①及び②に賞与が支給され、厚生年金保険料を控除されていたが、厚生年金保険の記録に当該賞与の記録がない。

請求期間の預金通帳の写しを提出するので、調査の上、請求期間に係る標準賞与額の記録を訂正し、年金額に反映してほしい。

第 3 判断の理由

請求者から提出された預金通帳 (写)、A 社の元代表取締役の陳述並びに複数の同僚から提出された「平成 15 年春季賞与明細書」(写) 及び「秋期賞与明細書」(写) から、請求者は、請求期間①及び②において、同社から賞与の支払を受け、当該賞与から厚生年金保険料を事業主により控除されていたことが認められる。

なお、請求期間の賞与支給日については、上記預金通帳 (写) により確認できる振込日から、請求期間①は平成 15 年 4 月 11 日、請求期間②は同年 10 月 15 日とすることが妥当である。

また、請求期間の標準賞与額については、請求期間①は上記預金通帳 (写) 及び「平成 15 年春季賞与明細書」(写) により推認できる厚生年金保険料控除額から 1 万 8,000 円、請求期間②は上記預金通帳 (写) 及び「秋期賞与明細書」(写) により推認できる賞与額及び厚生年金保険料控除額から 37 万 2,000 円とすることが妥当である。

なお、事業主が請求者に係る厚生年金保険料を納付する義務を履行したか否かについては、B社は、平成15年4月11日及び同年10月15日の賞与について、請求者の健康保険厚生年金保険被保険者賞与支払届を社会保険事務所（当時）に対し提出したか否か、また、厚生年金保険料を納付したか否かは不明と回答しているところ、これを確認できる関連資料及び周辺事情はないことから、明らかでないとは判断せざるを得ない。

また、政府の当該保険料を徴収する権利が時効により消滅する前に、事業主が請求どおりの厚生年金保険被保険者の賞与額に係る届出を社会保険事務所に対して行ったか否かについては、これを確認できる関連資料及び周辺事情がないことから、行ったとは認められない。